

調査の結果から

令和7年(2025年)12月

保護者の皆様

札幌市立栄北小学校

校長 田尾 寿之

5月に、6年生を対象とした全国学力・学習状況調査が行われ、札幌市教育委員会から、「札幌市の調査結果の概要」が公表されました。本校で対象になりました6年生の保護者の皆様には、既に個人票を配付しております。

本調査は、学力の特定の一部を測定したものであり、学校の教育活動の一側面であると考えています。今回の調査結果をもとに、児童の傾向を把握し、その他調査の結果と合わせて今後の指導に生かしていきたいと考えています。

生活習慣や学習環境に関する質問調査から

肯定的な解答が多い質問	否定的な解答が多い質問
<ul style="list-style-type: none">・自分には、よいところがあると思う・自分と違う意見について考えるのは楽しい・友達関係に満足している・社会や地域をよくするために何かしてみたいと思う・友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる・学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている・国語の勉強が好き・算数の勉強が好き・理科の学習が好き・英語の勉強が好き	<ul style="list-style-type: none">・将来の夢や目標をもっている・分からないことを詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することができる・学習した内容について分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている・算数の授業の内容がよく分かる・英語の授業の内容がよく分かる・今回の国語のテスト中、文章で回答する問題で、回答しなかったり途中であきらめたりした子の割合が多い・今回の算数のテスト中、言葉や数、式を使って分や求め方などを書く問題で、解答しなかったり、途中であきらめたりした子の割合が多い

国語や算数の学習を好きな子が多く、友達や周りの人の考えを大切に、協力しながら課題の解決に取り組んでいます。一方で、授業の内容がよく分かり、学習したことを次の学習や生活の場面で生かそうと考えている子が少ないことが分かります。理解度の自覚を促したり、学習内容を整理したりすることができるように、授業の最後や内容の区切りとなるタイミングで学習の振り返りを行うことを進めていきます。

これからも、子どもが安心して学校に通い、充実した学校生活を送ることができるように、保護者や地域の皆様にご協力をいただきながら教育活動に取り組んでいきます。

国語 教科に関する調査結果の概要と改善に向けて

得意なところ と 苦手なところ

言葉の特徴や使い方に関する事項

全国平均を下回っている

- ▼学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

情報の扱い方に関する事項

全国平均を上回っている

- 集めた材料を分類したり関係付けたりすること

我が国の言語文化に関する事項

全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

- ▼時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く

話すこと・聞くこと

全国平均とほぼ同程度

- ▼話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること

書くこと

全国平均とほぼ同程度

- 目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

読むこと

全国平均とほぼ同程度

- ▼事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること

これからの取組

漢字のもつ意味を考えて分の中で正しい使い方を取得できるようにする学習の充実を図る

様々な事柄を分類しながら捉えたり、図などを使って表したりする学習活動の充実を図る

それまでの経験などを基に、初めに自分なりの考えをもったり、「いつ」「誰が」「何をしたのか」などに着目して相手の話を聞いたりする活動の充実を図る

目的を明確にして、自分の考えを比較しながら情報を収集する。集めた情報や知識を分類したり関連付けたりしながら自分の考えをまとめていく学習活動の充実を図る

資料などと関連付けながら文章を読み取ったり、目的に応じて必要な言葉や文を選んだり、端的に表したりする学習活動の充実。

算数 教科に関する調査結果の概要と改善に向けて

得意なところ と 苦手なところ

数と計算

全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

- 資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算すること
- 分数を単位分数の幾つ分として捉えること

図形

全国平均を上回っている

- 図形の意味や性質についての理解
- ▼角の大きさについての理解

測定

全国平均を上回っている
○はかりの目盛りを読む

変化と関係

全国平均を上回っている
○伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見出し、数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できる

データの活用

全国平均とほぼ同程度である
○簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶ

これからの取組

解決することを明確に意識して学習活動に取り組む

数の性質に注目したり、図を使って表したりするなど、数の量感を養う活動の充実を図る

基本的な計算の能力を高める活動の充実をはかる

角の大きさや位置関係について着目し、図形の構成要素について考える活動の充実を図る

器具を使って様々な量を測定する活動や、単位を明らかにして身の回りの物の大きさを表す活動の充実を図る

収集したデータを、目的に応じて表やグラフ、簡単な言葉などの分かりやすい形に置き換え、データの特徴や傾向、それぞれの関係を捉える活動の充実を図る

理科 教科に関する調査結果の概要と改善に向けて

得意なところ と 苦手なところ

「エネルギー」を柱とする領域
全国平均とほぼ同程度である

- 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現すること
- ▼身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物との共通点や差異点を理解する

「粒子」を柱とする領域
全国平均とほぼ同程度である

- ▼水の温度変化について、問題に対する氷に変わる温度を根拠に、海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現すること

「生命」を柱とする領域
全国平均を上回る

- 花の作りや受粉について知識が身に付いている
- レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること

「地球」を柱とする領域
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

- ▼赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して、表現すること

これからの取組

理科的な事物や現象に対し瑠理解を深めるために、新たに習得し知識を、これまでの学習内容やすでのもっている知識、他の教科や生活の場面と関係付けて整理するような学習活動の充実を図る

観察や実験の結果と、そこからいうことができることを区別して捉え、より妥当な考えを作り出すことができるような場づくり、教師の関わりの充実を図る

観察や実験の結果を比較して、共通点と差異点を明らかにしたり、その理由を考えたりしたことをノートなどにまとめたりする活動の充実を図る

観察や実験の結果を基に、数値や事物・現象の変化に着目して自分なりの仮説を立て、表現することを通して、より妥当な考え考えを作り出す活動の充実を図る